

北の物販倶楽部 謁見音声 書き起こし資料

2015年2月6日 謁見収録 No.03



はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



真田 孔明：

ええ

北野会長：

純金の仏像や

真田 孔明：

はい、そう言えばお坊さんいますね？ 笑

北野会長：

あ、そうそう最初に飲んだ時一緒だった

真田 孔明：

お坊さん居ましたよね？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

まだ、彼もふらふらしてます、何もしないで、彼お墓、お墓ね、え～持ってるんで、やっぱちびちびと入って来るんですよ、そこは

北野会長：

やっぱ、ね、それよりね、値段のつかんお墓、じゃなくて 笑

真田 孔明：

うん

北野会長：

金の仏像やろう？ 笑

真田 孔明：

値段あってないようなものですからね

北野会長：

う～ん、中身は金やから、今もう、でも金の値段上がってるらしい

真田 孔明：

は～い



北野会長：
その蒸発しとるやろ？

真田 孔明：
はい

北野会長：
お金を、ね、そうすると金の値段、ぐっと上がる

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
ね、そういうところに引かれて

真田 孔明：
うんうん

北野会長：
そういう話が出て来る

真田 孔明：
中国人100%の会社を作ったんですけど

北野会長：
う～ん

真田 孔明：
香港で

北野会長：
う～ん

真田 孔明：
HSBCの銀行と一緒に、あの～、あの人の口座の共に

北野会長：
うんうんうん

真田 孔明：



あれ、すごく見えそうな気がするんですよね？何かそういうので

北野会長：

いやもう、要はだから、発想で

真田 孔明：

はい

北野会長：

売り上げを立てる会社を

真田 孔明：

ああ

北野会長：

作るときゃええねん

真田 孔明：

うんうん・・香港から骨董品買いたい人、いっぱいいるんじゃないかと思って

北野会長：

いや本当に骨董品ってのは売れるのよ

真田 孔明：

はい 笑　そうです、偽物を　笑

北野会長：

偽物

真田 孔明：

偽物って言っちゃいけないんですよね？　笑

北野会長：

そう、よく似たような　笑

真田 孔明：

そうそう、値段がわからない

北野会長：

そうそう



真田 孔明：
高いやつですね？

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
はい

北野会長：
それが

真田 孔明：
はい

北野会長：
味噌と醤油

真田 孔明：
本当そうですね、で、その人が好きになって買っただけですもんね？

北野会長：
そうそうそう

真田 孔明：
でそれ、銀行マンに 聞いたんですよ、来てた

北野会長：
うんうん

真田 孔明：
それであの～投資用に、じゃあ海外に送ったとしたら、どう思うって言ったら、「危ない人だ
と思います」と

北野会長：
うんうん

真田 孔明：



危ない経営者だと思いますと、「じゃあもしも、この人が1億円の壺を買って、あの～海外に送金したらどう思います？」言ったら、「いや、趣味ですから」って言ってましたけど、普通に、銀行マンの

北野会長：
趣味の

真田 孔明：
いや、それは危なくないって言ってましたよ

北野会長：
絶対大丈夫とは

真田 孔明：
投資の方が危ないって言ってましたよ、投資用で送金する経営者は

北野会長：
ダメだ、投資はダメだ

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
絶対ダメだ

真田 孔明：
まあ趣味に生きる経営者は、逆に銀行は危なくないと判断するんですね？あれ？

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
すごいですよね、逆に余裕がある人だと、経営に

北野会長：
そうだよ 笑

真田 孔明：
もうめちゃくちゃですね 笑 彼も確かに、そういう周りにそういう経営者ばっかだったですねって 笑



北野会長：
そっちの方が

真田 孔明：
うん

北野会長：
正しい事自身が

真田 孔明：
ああ

北野会長：
あなたがわかったらんだよ

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
ね

真田 孔明：
わかってなかったですね、全然

北野会長：
そっちの方が、どうせ健全な経営者

真田 孔明：
そうですね、投資なんかする経営者よりも、壺を趣味で買ってる経営者の方が安全だと銀行は思っていると

北野会長：
そうそう

真田 孔明：
びっくりしますよ、この発想は、1億円の不動産を買う人は危ない人

北野会長：
そう



真田 孔明：

1億円の壺を買う人は趣味、むちゃくちゃですよ 笑 意味わかんないですけどね

北野会長：

孔明、だから言ってるやん？趣味はお仕事

真田 孔明：

うんうんうんうん

北野会長：

道楽は貯蓄

真田 孔明：

はい

北野会長：

その違いがでかい

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

このね、ちっちゃいこのすれ違いだけど

真田 孔明：

はい

北野会長：

全然、違う

真田 孔明：

全然違うんですね、銀行マン、はっきり言って欲しいですね、うん

北野会長：

でも、人間みんなそうだよ

真田 孔明：

う～ん



北野会長：
金余っとるから

真田 孔明：
はい

北野会長：
壺買うんやと、ね、全然違うやろ？

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
捕らえ方がさ

真田 孔明：
うん

北野会長：
金余っとる言えば、人は安心する

真田 孔明：
うん

北野会長：
でも、金足らん言うたらみんな不安になる

真田 孔明：
そうですねえ、で趣味に1億円使える人って言ったらもう、余裕、本当にある人だと思われちゃいますよね？

北野会長：
「社長、これ何ですか？」言うたら、「あ、これこの前、趣味で買っといたんだよ」、で決算書見たらさ、黒字やってみら、おう、金余っとんなど、お前は

真田 孔明：
笑

北野会長：
それを銀行に真っ直ぐ言うと、銀行がこうさぶなる



真田 孔明：

はい

北野会長：

だ、それを遠回しにさ、ね、ちょうど好きな絵あったから 笑 1,000万で安かったんで買ったよって、これでもまだ300万儲かったんだから、1,300万もらったなと

真田 孔明：

ああ、ああ

北野会長：

人間ってのは、遠回しに言うと、そうやって勘違いする

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

だ、間違い気違い勘違いって、そういうところから出てる

真田 孔明：

はい

北野会長：

俺が言うと簡単にわかるわけよ

真田 孔明：

うんうん

北野会長：

うん、額に絵1枚入れてさ、これがいくらやってって販売して、逆にそれっきりなんやから

真田 孔明：

笑

北野会長：

で、そこら辺、まだ純情なの

真田 孔明：

笑 真面目に商品を・・・



北野会長：
全てがそんなや

真田 孔明：
う～ん

北野会長：
本当は、だから半分はマトリックスだっていうのは、俺が

真田 孔明：
うん

北野会長：
言えばそういう事いうと、会社いっぱい作るやろ？でいっぱいの中でどんどんたま引きや
いい

真田 孔明：
はい

北野会長：
で、たまだけ返してくれれば返すがいいし

真田 孔明：
うん、でよく、ねえあの、お金は回すと儲かるっていう、よく聞きますけど、何か意味わかって来るんですね、う～ん

北野会長：
金ってのは撒いとるもんじゃなく

真田 孔明：
うん

北野会長：
金ってのはもらっとるもん、金、撒いて必死に働いてる、でもすぐ、お前、摩擦で磨かれてる

真田 孔明：
うん、そう 笑

北野会長：



それってのは摩擦できれば減っていくね

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

摩擦で減らん金を作る事やね

真田 孔明：

う～ん

北野会長：

想像するもんなんて

真田 孔明：

はい

北野会長：

ね、わしの地元じゃ、なんぼでもそんなのを、作れるところあっから大丈夫

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

それを物販に入れりゃ

真田 孔明：

はい

北野会長：

そりゃ絶対潰れんのやから

真田 孔明：

ああ

北野会長：

それをさ、10年もやっとな？びっくりするよ？

真田 孔明：

う～ん、黒字経営、ずっと10年とか 笑 ないっすねえ、確かに



北野会長：
あれね

真田 孔明：
はい

北野会長：
政策銀行も

真田 孔明：
はい

北野会長：
商工中金も全部一緒や、ダメと言う連中は

真田 孔明：
う〜ん

北野会長：
あれ？黒字さえ出てれば大丈夫

真田 孔明：
うんうんうん、決算書にね

北野会長：
そう

真田 孔明：
はい

北野会長：
今、何売ってますかって、絶対聞きに来んよ？

真田 孔明：
そうですね

北野会長：
それでね、中小の銀行から借りると、そういう事聞きに来るのやで



真田 孔明：

ああ～

北野会長：

ね、しょっちゅう来るやる？

真田 孔明：

はい、国系のところがいいんですね？

北野会長：

そうそう、国系は絶対いいよ

真田 孔明：

しかもますますお金に関して鈍い人達ですよ 笑

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

属性的に

北野会長：

そうそう、麻酔打って仕事やる・・・

真田 孔明：

もう早く定時になったら帰りたいなっていう

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

あとどうせ給料上がんないしと思ってるし

北野会長：

うん、そうよ、賄賂も絶対取らんよ

真田 孔明：

ああ、ああ、ああ

北野会長：



首になりたくないから、絶対そういうことしない

真田 孔明：

属性が違うんですよね、やっぱ、うちの母親見ててわかりますもんね

北野会長：

う〜ん

真田 孔明：

地方公務員一筋で、いまだに現役で先生やってますもん、60、え〜4とか5ほどまで

北野会長：

本当？

真田 孔明：

あの〜、1回、定年退職した後

北野会長：

うんうんうん

真田 孔明：

何かその、パートでね、週3回働くっていうのがあるんですよ

北野会長：

ああ〜

真田 孔明：

もうお金のあれじゃないんですよ、観念がもう、完全に

北野会長：

そうそうそう

真田 孔明：

生きがいていうか何かね

北野会長：

金に溺れたらダメだけど

真田 孔明：

うんうん



北野会長：
金の感覚を、どんどん前に

真田 孔明：
笑

北野会長：
アルコールと一緒にやで 笑 これはね、永遠のもんなのね・・・いやだから、悪代官はみんな、
越後屋を仕切るわけよ

真田 孔明：
ああ～

北野会長：
今、何かくれたよ？何なん？（タクシーから）

真田 孔明：
あ、これは、ただこのタクシーに忘れ物とかあった時にとか、何か問題があった時のように、
控えてくれているだけです

北野会長：
ま、まず、その、今の額から、順番にやってくのがいい

真田 孔明：
はい

北野会長：
それをこっちの物販の会社も、もう成功やぞ

真田 孔明：
う～ん、額？うん

北野会長：
うん、借りたもんは

真田 孔明：
はい

北野会長：



投信でも動いとるんや

真田 孔明：

はい

北野会長：

あとは数字だけ作りゃええんやから

真田 孔明：

ああ～

北野会長：

それでも取りにくい

真田 孔明：

はい、金はあるか・・・そうすね、売り上げあそこに立つんで、だから3、え～50万円の額と120万円の額の2種類を用意すりゃいいんですね？ 笑

北野会長：

そうそう 笑 頭いい

真田 孔明：

笑 いや～頭良くないですよ！ここまでヒントがあってもう 笑

北野会長：

しかし金額がでかくなったら

真田 孔明：

はい

北野会長：

うん、ね、別件にして、金ぴかにしとけ

真田 孔明：

うん、それやっぱ、こっち、オフィスがないとね、引っ張れないみたいなんですよ？

北野会長：

あ、本当？

真田 孔明：



ちっちゃい、でもちっちゃいオフィスでいい、ね、あれなんですけど、場所を地方に、地方とかにして

北野会長：

う〜ん

真田 孔明：

隅っこにして・・・それか、それをまずやればいい、それじゃお客さん喜ぶますもんね？

北野会長：

そうそう

真田 孔明：

どうせ消せるやつだから

北野会長：

う〜ん

